

南西フランスから北スペインへ～巡礼の道とロマネスクの旅

ご旅行期間とご旅行代金

〔旅行代金には燃油サーチャージが含まれております〕

2025年10月2日(木)発～10月15日(水)着…¥898,000

お一人部屋利用追加料金 ¥110,000

サンチャゴ・デ・コンポステラ



サント・ドミンゴ・デ・シロス修道院

この場所の名は、アラビアのアッバス朝カリフにより破壊された古いゴート族の僧院を11世紀にサント・ドミンゴに捧げるために建てられたことに由来します。のちに遺棄された同修道院は、1880年にフランス南西部ボワトゥー地方からやって来たフランスのベネディクト会士たちの避難場所となりました。

サント・ドミンゴ・デ・シロス修道院内には、**スペインで最も美しいと称されるロマネスク様式の中庭回廊**が残されています。特に「**トマスの不信**」として知られる彫刻は、ほぼ完全な状態で残されています。この彫刻は、イエスが復活した事を信じていない聖トマスが十字架上でイエスが刺された右わき腹を見ている場面です。スペイン巡礼路上に数ある教会建築の中で、これほど素晴らしい回廊装飾が残されているのはサント・ドミンゴ・デ・シロス修道院だけでしょう。



『ロマネスクのシスティーナ礼拝堂』 サン・イシドロ



かつてセビリアの大司教だったイシドロのために建てられた教会堂の西側地下には、「**ロマネスクのシスティーナ礼拝堂**」と称される美しい壁画が残されています。この王家の霊廟でもある西側地下に残された見事なロマネスク様式の壁画は、低く限られたスペースの中に新約聖書の場面から、当時の**農村生活の様子**まで描かれています。今から約900年も前に描かれた壁画とは思えないほど保存状態が良く、まるで中世の時代にタイムスリップしたかのような錯覚に陥ります。

天の川の果てに聖ヤコブの国を訪ねて

中世のキリスト教世界には、3つの大巡礼地がありました。キリストの生涯に関わる重要な聖地・エルサレム。12使徒の1人・聖ペテロの墓があるカトリック教会の総本山・ローマ。そしてイベリア半島の北西端、ヨーロッパの「地の果て」と呼ばれた**サンチャゴ・デ・コンポステラ**です。中世の時代、イスラム教徒の手中にあったエルサレムへの巡礼は、庶民にとってあまりに遠く、危険が常につきまとうていました。ローマは、アルプス越えの難所があるにしても、聖地によりやく辿り着いたという感動には若干欠けます。それだけに、フランス、ドイツ、イタリア等からの巡礼者たちは遙かピレネーの向こうサンチャゴ・デ・コンポステラを目指して歩きました。

サンチャゴ・デ・コンポステラへの巡礼路は、ヨーロッパ中に網の目のように広がっていました。ベルギーや北ドイツからの巡礼者達は北フランスのパリかヴェズレーで、スイスやイタリアからの巡礼者達は南フランスのル・ピュイかアルルで集合しました。この4つの町から発した巡礼路は合流しながら、ピレネー山脈を越えてスペインに入り、ブエンテ・ラ・レイナの町で1つになります。

最盛期の12世紀頃には、巡礼者の数は年間50万人に達したといわれています。今も昔も多くの巡礼者を惹きつける理由は、そこにキリストの12使徒のひとり、**聖ヤコブの墓**があるためです。

今回のコースでは、一般的な北スペインのツアーのように主に現代の幹線道路を走るだけではなく、**中世の時代に巡礼者が歩いた本当の巡礼の道**を移動し、各地に点在する美しいロマネスクやゴシックの教会堂をたっぷりご覧いただきます。

また、**巡礼手帳**を発行し、各教会の到着証明スタンプを押して巡礼地を巡ります(サンチャゴ・デ・コンポステラ到着後の巡礼証明書は到着条件に満たないため、受け取ることはできません)。

大修復を終え、色彩を取り戻した大聖堂は必見です。**6名様**より出発いたしますので、お早めのお問い合わせをお待ちいたしております。



ご旅行条件

- 募集人員/12名様定員
- 最少催行人員/**6名様**
- お食事/朝食11回・昼食5回・夕食10回
- ※農村地域で予約できるレストランのない日の昼食は除いています。現地で添乗員が軽食をご案内します。
- 千歳・羽田空港使用料/¥4,300(別途必要)※利用地により変更となります。
- 国際観光旅客税[出国税]/¥1,000(別途必要)
- ETIAS(欧州渡航情報認証制度)/2025年度から必要となります。金額等の詳細が分かり次第、改めてご案内いたします。
- 旅券残存期間/出国時6ヶ月以上
- 旅行代金には、海外の空港税、出国税、航空保安税が含まれております。
- 千歳空港より、全行程、社員添乗員同行
- トランク往復無料託送サービス
- 【ご自宅～空港～ご自宅】
- ※大阪・福岡・中部発着:同一料金
- ※東京発着:¥15,000引き
- ※ビジネスクラス追加料金はお問い合わせください。



ご利用ホテル

- トゥールーズ/ノボテル、クラウンプラザ、ホリデイ・イン、キリヤド
- ルルド/アストリア、デラバレー、アメリカ、メルキュール
- パンブローナ/ホテル・ブランカ・デ・ネバラ、メゾン・ネイブ
- ログローニョ/ヘレンチア・リホハ、カルトン・リオハ、メリア・コンフォート・ロス・ブラコス、ゼニット
- ブルゴス/NHバラシオ、ホテル・デ・シド、ウサ・アルランゾン
- レオン/アルフォン5世、ACサンアントニオ、ACボンフェラーダ、マイブレイス
- ルーゴ/ルーゴ、メンデス・ニュエネス、シウダッド・デルーゴ
- サンチャゴ・デ・コンポステラ/メリア・アラグアニー、トリップ・サン・ラザロ、プエルタ・デル・カミノ、ACパラシオ・デル・カルメン、エスベリア・コンポステラ、NH、エスベリア・ペレグリーノ
- ※上記ホテルまたは同等クラスとなります。
- ※表記の時間は、すべて現地時間に表示されています。
- ※表記の「○」はお食事の有を示します。「➡」は機内食、「×」の食事は含まれておりません。
- ※現地の都合によりスケジュールが変更される場合がございます。その場合でも極力日程に従って旅行サービスがお受けになられるよう万全の手配努力を致します。
- ※時間帯によっては**宗教施設の入場観光ができない場合がございます。**

	都市名	スケジュールと見どころ/お食事と宿泊地
1	千歳 羽田/成田	スーツケース無料託送サービス ご自宅～空港 ■午後、千歳空港より、国内線にて、羽田又は成田空港へ。 ■夜、中東を経由し、南フランスのトゥールーズへ。 〓〓〓[機中泊]
2	トゥールーズ	■夕刻、トゥールーズ到着後、ホテルへ。 〓〓〓[トゥールーズ泊]
3	トゥールーズ (モワサック)	■午前、バラ色の街 トゥールーズ 着後、簡単な見学。サンチャゴ・デ・コンポステラへの巡礼者収容用に建てられたサン・セルナン聖堂へご案内いたします。 ■その後、トゥールーズ郊外の モワサック へ。着後、西南フランス屈指の サン・ピエール修道院 にて、ロマネスク様式の美しい正門玄関や、大理石で造られた円柱が立ち並ぶ回廊を見学します。 長身のエレミア像は必見 です。 ■午後、専用バスにて、ピレネー地方の サン・ベルトランド・ド・コマンジュ へ。着後、ロマネスク様式とフレスコ画が残るサント・マリー大聖堂を訪ねます。 ■夕刻、専用バスにて、 聖母御出現の聖地・ルルド 到着。 ■夕食後、ご希望の方で 夜のローソク行列 へご案内します。 〓〓〓[ルルド泊]
4	ルルド オロン・サントマリー サン・ジャン・ピエ・ド・ポール イバニェタ峠 パンブローナ	■午前、専用バスにて、アスプ渓谷とオソー渓谷の合流地点に位置する オロン・サントマリー へ。タンパンの装飾が美しいサント・マリー教会へご案内いたします。 ■その後、サンチャゴ・デ・コンポステラのフランス側最後の合流点である サン・ジャン・ピエ・ド・ポール へ。 ■午後、スペイン側ピレネー山脈に入り、 イバニェタ峠 (1057m/ロンスジョー峠)へ。『 ローランの碑 』をご覧くださいのち、パンブローナへ。 〓〓〓[パンブローナ泊]
5	パンブローナ ブエンテ・ラ・レイナ エステリャ イラチエ ログローニョ	■午前、 パンブローナ市内観光 (豪華な装飾の回廊が印象的なカテドラル、かつてのバスク人の居住区など)。その後、『 巡礼の道 』を進み、ログローニョへ。途中、二つの巡礼の道の合流点 ブエンテ・ラ・レイナ 、巡礼者たちに「小町娘」と呼ばれていた町エステリャのサン・ミゲル教会とサント・セブルクロ教会、巡礼路の重要な 宿場町イラチエのワインの泉 を訪ねます。 ■ ログローニョ 着後、サンタ・マリア・デ・ラ・マドンナ大聖堂など、旧市街へご案内いたします。 〓〓〓[ログローニョ泊]
6	ログローニョ ナハラ カサルダ ブルゴス	■午前、『 巡礼の道 』を進み、カスティーリャの都ブルゴスへ。 ■途中、巡礼の道の橋の町 ナハラ (サンタマリア・ラ・レアル修道院)、巡礼の道の重要拠点 サントドミンゴ・デ・ラ・カルザダ 村に立寄ります。 ■午後、スペインで最も美しい内庭回廊の サントドミンゴ・デ・シロス修道院 を見学します。 〓〓〓[ブルゴス泊]
7	ブルゴス フロミスタ サアグン レオン	■午前、 ブルゴス市内観光 (スペイン・ゴシックの傑作のカテドラル、サンタマリアの城門、旧王立救護院など)。その後、『 巡礼の道 』を進み、レオンへ。 ■途中、 フロミスタ (ロマネスクの華・サンマルティン教会)、 カリオン・デ・ロス・コンデス村 (サンチャゴ教会)、 サアグン村 (サンティルソ教会)に立寄ります。 《 レオンに連泊です 》 〓〓〓[レオン泊]
8	レオン	■午前、 レオン市内観光 。ヨーロッパを代表するステンドグラスのカテドラルや、荘厳なロマネスクの天井画が見事な サン・イシドロ教会 などをご案内いたします。 ■午後、中世の面影を残す旧市街の散策など、のんびりとお過ごしください。 〓〓〓[レオン泊]
9	レオン アストルガ ボンフェラーダ セブレイロ峠 サリア ルーゴ	■終日、『 巡礼の道 』を進みます。 ■午前、 アストルガ (大聖堂、巡礼博物館となっているガウディが建てた司教館)、鉄十字架の峠 ボンフェラーダ (テンブル騎士団の城塞跡(外観))、 ビリャフランカ・デ・ビエルソ (サンタマリア教会)を訪ねます。 ■午後、ガリシア地方への入口で巡礼の道の最後の難所 セブレイロ峠 (1,109m)を越えて、丘の上の町 サリア (マッドレーナ教会)を訪ね、城塞都市・ルーゴへ。 〓〓〓[ルーゴ泊]
10	ルーゴ ポルトマリン ビラル・デ・ドナス サンチャゴ・デ・コンポステラ	■午前、城壁に囲まれた街 ルーゴ の散策をお楽しみ下さい。 ■その後、『 巡礼の道 』に戻り、 ポルトマリン (聖ヨハネ騎士団教会)、 ビラル・デ・ドナス (サンチャゴ騎士団の墓地とフレスコ画)を訪れ、いよいよ 聖地コンポステラ へ。 モンテ・ド・ゴッソの歓喜の丘 にも立寄ります。 ■ご希望の方はモンテ・ド・ゴッソから、大聖堂までの巡礼の道最後の5kmを徒歩にてご案内します。 《 サンチャゴ・デ・コンポステラに連泊です 》 〓〓〓[サンチャゴ・デ・コンポステラ泊]
11	(パドゥロン) サンチャゴ・デ・コンポステラ	■午前、聖ヤコブの聖遺骸が漂着したといわれる、大西洋のローマ時代からの町 イリャフラヴィア (現エル・パドゥロン)へご案内します。 ■その後、 サンチャゴ・デ・コンポステラ市内観光 。 聖ヤコブの棺を納めるカテドラル 、付属博物館、オブラディオ広場をご案内します。 〓〓〓 [サンチャゴ・デ・コンポステラ泊]
12	サンチャゴ・デ・コンポステラ	■午前、マドリッドへ移動したのち、中東を経由して帰国の途へ。 〓〓〓 [機中泊]
13	成田	■夕刻、成田空港到着。入国検査後、ホテルバスにて、空港近郊ホテルへ。 〓〓〓 [成田近郊泊]
14	成田/羽田 千歳	■午前、成田空港よりリムジンバスにて羽田空港へ[実費: ¥3,600]。 ■午後、羽田より、国内線にて千歳へ。着後、解散。 スーツケース無料託送サービス 空港～ご自宅 〓〓〓